

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

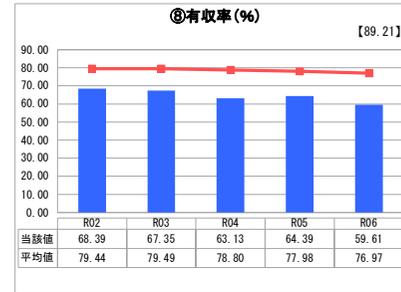
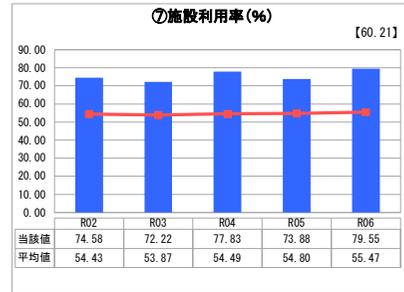
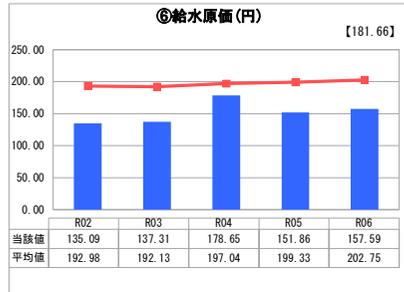
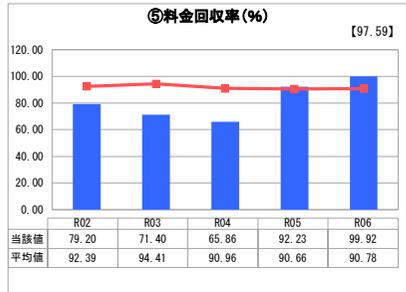
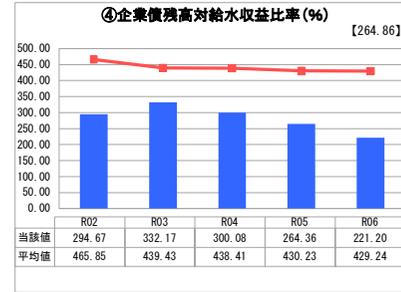
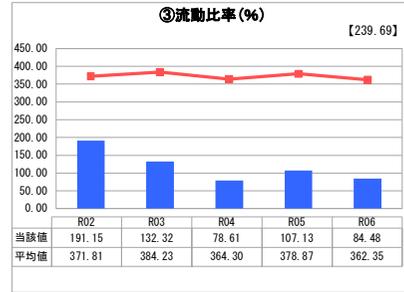
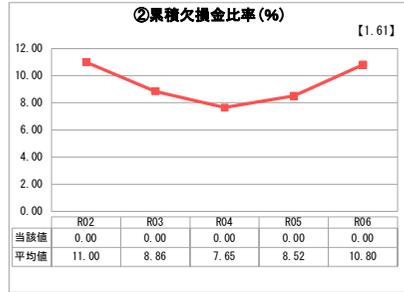
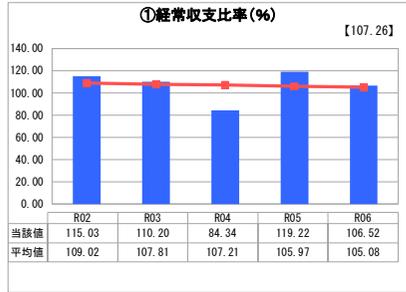
和歌山県 湯浅町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)	
-	60.00	99.79	3,190	

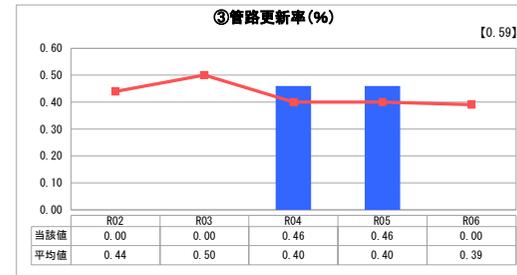
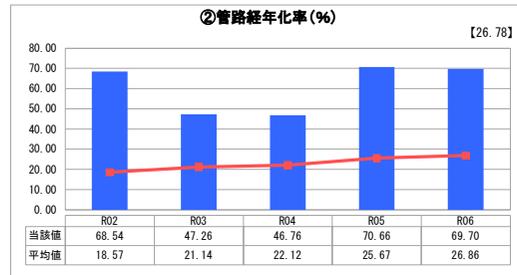
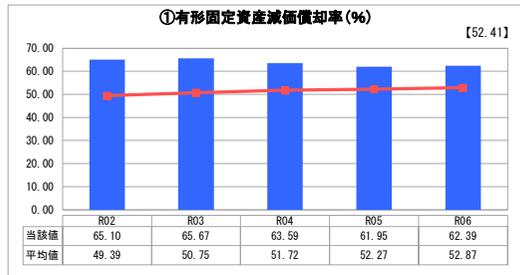
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
10,731	20.80	515.91
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
12,710	23.54	539.93

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は一般会計からの補助金の減少、受水費及び動力費等の増加により、前年度より12.70ポイント下回った。今後、更なる費用削減を徹底し、効率的な経営をより一層進めていく必要がある。

②累積欠損金は発生していない。

③流動比率は100%を下回る結果となっており、短期的な支払能力に懸念があることを示しており、起債の元利償還金の返済時には現金収支に注意が必要である。今後は費用の削減を行い比率の改善を行っていく必要がある。

④企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均より大きく下回っており、令和4年度より減少傾向にあるが、今後、建設改良工事の増加により起債借入の増加が見込まれるため注意が必要である。

⑤料金回収率は令和6年度水道料金の値上げを行ったことにより、昨年度より数値は改善されたが、まだ100%を少し下回っているため、更なる効率的な運営を行い、費用の削減に努めていきたい。

⑥給水原価は類似団体平均を下回る水準であるが、⑤料金回収率が100%を下回る結果となっているため、更なる効率的な運営を行うため、費用の削減に努めていきたい。

⑦施設利用率は類似団体平均を上回っていますが、⑧有収率は類似団体平均を下回っているため、施設利用率の高さは収益に結びついていないと考えられる。漏水対策を必め、有収率の向上、効率的な施設利用につなげていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を上回る水準となっており、法定耐用年数を過ぎている資産が多く、管路及び施設機器の更新需要が高いといえる。また流動比率が低く、支払能力についても低いことから、費用の削減等により現金収支の改善に努め、計画的な管路及び施設機器の更新を行ってきたい。

②管路経年率についても類似団体平均を大きく上回っており、管路更新が喫緊の課題であるといえるため、①有形固定資産減価償却率の記載のとおり現金収支の改善に努め計画的な管路更新を行ってきたい。

### 全体総括

経営の健全性・効率性につきましては、令和6年度4月から水道使用料の値上げ（ただし4月～9月までの基本料金は半額免除）を行ったが、受水費及び動力費等の費用の増大が流動比率の低下につながっている。よって今後は更なる費用削減に努め、施設等更新財源の確保に努め、将来にわたり健全な事業運営を目指したい。